令和4年度宮崎県献血推進協議会

会 議 資 料

宮崎県福祉保健部薬務対策課

宮崎県献血推進協議会委員名簿

委員区分	所属団体及び機関名	氏名
会長	宮崎県福祉保健部長	重黒木 清
	公益社団法人宮崎県医師会	峰松俊夫
医療関係団体	一般社団法人宮崎県歯科医師会	江 藤 ゆかり
及び	一般社団法人宮崎県薬剤師会	岩崎恭子
医療機関	宮崎大学医学部附属病院	久冨木 庸 子
	公益社団法人宮崎県看護協会	久 保 敦 子
日本赤十字社	日本赤十字社宮崎県支部	渡邊浩司
及び	宮崎県赤十字血液センター	松岡均
その関係団体	赤十字奉仕団宮崎県支部委員会	後藤ツヤ
ボランティア活動団	ライオンズクラブ国際協会 337-B 地区	佐々木 直 哉
体	宮崎県学生献血推進協議会	瀬戸内 茉 和
労働組合	宮崎県労組会議	下原政広
教育関係団体	宮崎県県立学校長協会	西國原 総 代
及び	公益財団法人宮崎県私学振興会	佐藤和秀
教育機関	学校法人順正学園 九州保健福祉大学	松田智香子
婦人及び青年団体	宮崎県地域婦人連絡協議会	椎 井 美智子
報道機関	株式会社宮崎日日新聞社	永 峰 寛 子
松亩	宮崎県福祉保健部薬務対策課	川添洋次
幹事	宮崎県赤十字血液センター	飴 谷 進 一

(任期:令和3年8月1日から令和5年7月31日まで)

第1 令和4年度献血事業推進状況

安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(昭和31年法律第160号)の趣旨を踏まえ、年間を通じ、血液を過不足なく供給するため、市町村、日本赤十字社宮崎県支部及び宮崎県赤十字血液センターと一体となって、献血を推進するとともに、献血運動の普及を図るため各種事業を実施した。

1 献血の状況

(1) 献血者数

令和4年度の献血者見込み数は42,592人であり、本年度献血目標43,236人に対する達成率は98.0%となる。

	全血献血		成分	計		
	200mL 献血	400mL 献血	血小板	血漿	ĀI	
目 標(人)	141	29, 400	4, 256	9, 439	43, 236	
見込み(人)	136	29, 237	4, 257	8, 962	42, 592	
達成率(%)	96. 5	99. 4	100. 0	94. 9	98. 0	

献血者数

(2) 受入施設別献血者数

献血ルーム「カリーノ」及び移動献血車(バス)の献血者見込み数は次のとおりである。

277/JULY37/JUNE 1 X						
		全血献血		成分献血		計
		200mL 献血	400mL 献血	血小板	血漿	ĒΙ
	目標(人)	141	6, 120	4, 256	9, 439	19, 956
献血ルーム 「カリーノ」	見込み (人)	119	6, 490	4, 257	8, 962	19, 828
	達成率 (%)	84. 4	106. 0	100. 0	94. 9	99. 4
	目標(人)	ı	23, 280	ı	-	23, 280
移動献血車	見込み (人)	17	22, 747	_	_	22, 764
	達成率 (%)	_	97. 7	_	_	97. 8

受入施設別献血者数

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響及び対応等

〇新型コロナウイルス感染症の影響が長期に及ぶ中、イベントの開催や大学での対面授業の再開等により従来同様献血バスを派遣できた一方、感染者数の増加や企業のテレワーク推進などによる影響により、一部の献血バスの派遣は延期、キャンセルとなった。

〇バス配車が延期、キャンセルとなった場合は、引き続き大型ショッピングモール や官公庁舎等へ振替えることにより配車数を確保しているものの、バス1台あたり の採血者数は計画を下回っている。

- ・バス配車数 実績 359 台 (計画 347 台) (令和 4 年 4 ~ 12 月)
- ・バス1台当たりの採血者数 実績47.2人(計画50.3人)(令和4年4~12月) 〇医療非常事態宣言後など献血者数が落ち込んだ時は血液センターよりプレスリリースを行った。プレスリリースによりニュース等で報道があった後は、特に献血ルームの献血者数が増加したが、年間を通して献血者の確保状況は不安定となっている。
- ○県政番組による献血協力の呼びかけを行った。
- ・MRTラジオ「おはよう県庁です」(令和5年1月20日)

2 血液製剤の供給状況等

(1)輸血用血液製剤

医療機関の需要に応じ供給する赤血球製剤等の輸血用血液製剤は 133,821 単位となる見込みである。

輸血用血液製剤の供給量

	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	合計
計画(単位)	55, 950	15, 804	72, 750	144, 504
見込み(単位)	55, 456	14, 920	63, 445	133, 821
計画比(%)	99. 1	94. 4	87. 2	92. 6

※「1単位」とは、200mL 全血採血に相当する量

(2) 原料血漿の確保量

アルブミン製剤等の血漿分画製剤の原料となる原料血漿の確保量は九州ブロック全体で 146,407L となる見込みである。

原料血漿の確保量

	原料血漿量
確保目標量(L)	147, 861
確保見込み(L)	146, 407
達成率(%)	99. 0

3 献血推進事業実施状況

献血事業を推進するため、「みやざき愛の献血運動」を核として、次の事業を行った。 新型コロナウイルス感染症の影響で、一部の事業は中止または規模縮小しての実施と した。

(1) 広報啓発活動·献血運動推進大会等

実施事業名	事業内容
400mL 献血・成分献血の	【実施時期】通年
推進	〇年間を通し、400mL 献血及び成分献血を推進
	〇赤十字奉仕団による献血啓発、献血の呼びかけ
献血協力者確保等	【実施時期】通年
推進事業	〇新聞紙上(宮崎日日新聞)に献血情報及び成分献血協力企
	業名等を掲載(年2回)
	〇年間複数回献血の推進、ラブラッド(複数回献血クラブ)
	の登録推進
	〇献血サポーター事業の推進
	〇若年層対策:献血についての知事メッセージ作成・配布
	〇輸血用血液製剤の適正使用推進
町、総ぐるみ献血参加	【実施時期】通年
運動	〇献血者確保対策の一環として市町村単位で実施
	献血実績(令和4年4月~12月)
	実施数:4回 移動献血車6台稼働
	献血者:400mL 286 人
高校での献血と触れ合	【実施時期】通年
う機会の推進	〇県立副校長・教頭会(書面)での協力依頼(令和4年5月)
	〇高校生を対象とした献血セミナー
	実施数及び対象者数(令和4年4月~12月)
	16 回 846 人
	〇高校献血
	献血実績(令和4年4月~12月)
	献血者: 400mL 111 人 (4 校 4 回)
「こいのぼり献血」	【実施時期】5月
キャンペーンイベント	〇宮崎県学生献血推進協議会会員による献血と交通安全の
	呼びかけと SNS による情報発信
	5/3 サピア日南ショッピングセンター
	献血者:400mL 50人
	5/4 イオン日向店
	献血者: 400mL 59 人
	5/5 ホームワイド高鍋店
	献血者:400mL 63 人

実施事業名	事業内容
夏休み献血教室、サマ	新型コロナウイルス感染症の影響で中止
ースタディ	
愛の血液助け合い運動	【実施時期】 令和4年7月1日~31日
	〇「献血でつなぐ 命のリレー」懸垂幕掲示(県庁)
	○「県政けいじばん」による広告
	〇宮崎県産業資源循環協会「愛の血液助け合い運動」PR車
	両出発式(7月1日)
	〇サマー献血
	宮崎県学生献血推進協議会会員による献血の呼びかけと
	SNS による情報発信
	7/17 イオン日向店
	献血者: 400mL 57 人
	7/24 イオン延岡店
	献血者: 400mL 68 人
	7/31 クロモ清武
	献血者:400mL 42 人
	〇中学生によるメッセージパネル募集、各市町村役場及び
人口。大声之上光十	献血ルームに掲示(宮崎市、都城市)
令和4年度みやざき	【実施時期】令和4年10月25日
愛の献血運動推進	【場 所】メディキット県民文化センター
県民大会 	〇厚生労働大臣表彰、宮崎県知事感謝状、日本赤十字社有功
	章、日本赤十字社宮崎県支部長感謝状贈呈
│ 「クリスマス献血」	○参加者数:約 150 人 【実施時期】12 月
キャンペーン	25 302 5002
T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	SNSによる情報発信
	12/4 ホームワイド財光寺店
	献血者: 400mL 55 人
	12/11 ホームプラザナフコ佐土原店
	献血者: 400mL 65 人
「はたちの献血」	【実施時期】令和5年1月1日~2月28日
キャンペーン	〇「あなたの生きる力を誰かの生きる力に」懸垂幕掲示
	〇「県政けいじばん」による広告
	〇県 Twitter、Facebook による呼びかけ
	〇初詣献血(1月2日、3日)
	宮崎神宮(宮崎市)、神柱宮(都城市)
	献血者実績 400mL 208 人

(2)会議・研修会の開催

事業内容
【実施時期】令和4年11月19日
【場所】ホテルメリージュ
○新型コロナウイルス感染症の影響により、例年の単独
開催ではなくライオンズクラブニューメンバースクール
の一コマで実施
新型コロナウイルス感染症の影響で中止
【実施時期】令和4年10月22日
【場所】宮崎県赤十字血液センターまたはオンライン配信
【実施時期】令和5年2月4日
【場所】宮崎県赤十字血液センターまたはオンライン配信
【実施時期】 令和5年2月(書面協議)
〇令和4年度献血事業推進状況について
〇令和5年度宮崎県献血推進計画(案)について
県内各保健所単位で実施(一部書面開催)予定。

(3) 血液検査成績通知サービスの実施

日本赤十字社では、生化学検査成績(7項目)及び血球計数検査成績(8項目)について、通知を希望された方への通知サービス(親展での郵送)を実施した。 なお、ラブラッド会員については、この血液検査成績をウェブ上で閲覧することが可能となっている。

第2 令和5年度宮崎県献血推進計画(案)

本計画は、平成15年7月30日に施行された「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(昭和31年法律第160号)(「以下「法」という。)第10条第5項の規定に基づき定める令和5年度の献血の推進に関する計画である。

本計画は、令和5年度に確保すべき献血者数及び血液量等の目標並びに目標を確保するために必要な措置に関する事項について定める。

1 令和5年度に確保すべき献血者数及び血液量等の目標

本県の輸血用血液製剤の需要見込み及び、国から割り当てられた原料血漿確保目標量等を考慮し、令和5年度に確保すべき血液製剤の供給、献血者数、血液量の目標を定める。

(1) 血液製剤の供給計画

ア 輸血用血液製剤

過去3年間と令和4年度の供給状況等を勘案し、令和5年度の輸血用血液製剤の 供給を141,430単位とする。

		赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	合計
令和5年度	計画	55, 360	15, 400	70, 670	141, 430
令和4年度	見込み	55, 456	14, 920	63, 445	133, 821
□ 7 M 4 + 皮	計画	55, 950	15, 804	72, 750	144, 504
令和3年度	実績	55, 346	15, 534	71, 665	142, 545
サかり十段	計画	54, 100	16, 540	73, 400	144, 040

輸血用血液製剤の供給計画及び実績(単位)

イ 原料血漿確保量

アルブミン製剤等の血漿分画製剤の原料となる原料血漿確保量は、国から割り当てられた目標量を九州ブロックで 139,644L とする。

原料皿浆傩保日倧軍及ひ美領					
	原料血漿(L)				
令和5年度	目標量	139, 644			
令和 4 年度	見込み	146, 407			
744年度	目標量	147, 861			
令和3年度	実績	148, 236			
サから半度	目標量	145, 638			

原料血漿確保目標量及び実績

(2) 献血者の目標数

ア 献血者数

令和5年度の献血者の目標数は、42,529人とする。

献血者数の目標及び実績

		全 血	献 血	成分	献血	合計
		200mL 献血	400mL 献血	血小板	血漿	
令和5年度(人)	目標	111	29, 823	4, 538	8, 057	42, 529
令和4年度(人)	見込み	136	29, 237	4, 257	8, 962	42, 592
节和44度(八)	目標	141	29, 400	4, 256	9, 439	43, 236
令和3年度(人)	実績	122	29, 706	4, 033	9, 474	43, 335
	目標	131	29, 867	4, 020	9, 462	43, 480

イ 受入施設別献血者数

受入施設別献血者数の目標及び実績

		献血ルーム 「カリーノ」	移動献血車*	合計
令和5年度(人)	目標	20, 329	22, 200	42, 529
△和 4 年 年 / ↓)	見込み	19, 828	22, 764	42, 592
令和4年度(人)	目標	19, 956	23, 280	43, 236
令和3年度(人)	実績	19, 577	23, 758	43, 335
7名では、10年度(八)	目標	18, 695	24, 785	43, 480

[※]移動献血車(バス)による市町村別献血者数

移動献血車(バス)を円滑に受け入れるため、地域の実情に応じ、市町村ごとに市町村別献血計画を策定する(9ページ)。

(3) 血液の目標量

献血者から得られる血液の目標量は、全血献血により 11,951L、成分献血により 6,991L(血小板献血 2,528L、血漿献血 4,463L)の 18,942L となる。

令和5年度血液の目標量(L)

全血	献血	成分	合計		
200mL	400mL	血小板	血漿	18, 942	
22	11, 929	2, 528	4, 463		

令和5年度 宮崎県市町村月別配車計画(案)

保			目標数	是 呂呵宗 「四 竹 月 加 印 年 1 四 余 / 配車数 (台)												稼			
健 所	市町村	200mL	400mL	成分	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月			12月	1月	2月	3月	計	動効
771	宮崎市	0	6, 340	0			13		9	10		10. 5	12	12		6. 5	9		<u>率</u> 51.3
中 央	国富町	0	300	0		0. 5	0		0	0	0		0	0	0. 5	1. 5	0	5. 5	54. 5
	綾町	0	160	0	160	0	0	1	0	0	0		0	0	0	1	0	3	53. 3
	計	0	6, 800	0	6, 800	13	13	10	9	10	9		12	12	13	9	9	132	51. 5
日	日南市	0	940	0	940	2	2	2	Ţ	2	4		2	2	1	1	1	19	49. 5
南	串間市		290	0				1	1		•	1	1		· ·	2	·	6	48. 3
	計	0	1, 230	0	1, 230	2	2	3	1	2	4	1	3	2	1	3	1	25	49. 2
±n	都城市	0	4, 900	0	4, 900	9	9		8	8	6	9	7. 5	9	7. 5	7	8	95	51. 6
都 城	三股町	0	280	0	280			1	1		1		1.5		0. 5	1		6	46. 7
	計	0	5, 180	0	5. 180	9	9	8	9	8	7	9	9	9	8	8	8	101	51. 3
小 林	小林市	0	1, 000	0	1, 000		3	2	2	2	3	1		4	1	1	2	21	47. 6
	えびの市	0	490	0	490	1		2				2	1	7		2	1	9	54. 4
	高原町	0	190	0	190				1			1	1				1	4	47. 5
	計	0	1, 680	0		1	3	4	3	2	3	4	2	4	1	3	4	34	49. 4
高鍋	西都市	0	520	0	·	-		1. 5	2	1	1		1	1	1	1	1	11	47. 3
	高鍋町	0	580	0			1	2	1	1	· ·	3		1	1	1	1	12	48. 3
	新富町	0	460	0	460		1		2		1		1	'	2	· ·	2	9. 5	48. 4
	西米良村	0	80	0	80	0.0					· ·	1	·				1	2	40. 0
	木城町	0	70	0				0. 5					1					1.5	46. 7
	川南町	0	330	0		1		0.0	1	1	1			1	1		1	7. 7	47. 1
	都農町	0	100	0	100			1	'	0					'	1		2	50. 0
	計	0	2, 140	0	2, 140	2	2	5	6	3	3	4	3	3	5	3	6	45	47. 6
	日向市		1, 400	0	1, 400		2	2	3	3	2	2	2	3	2	3	1	28	50. 0
	門川町	0	290	0		1		1			1	1	1			1		6	48. 3
日	諸塚村		60	0				·			1	•	· ·			·	1	2	30. 0
向	椎葉村		75	0	75						1						1	2	37. 5
	美郷町	0	110	0					1		•		1				1	3	36. 7
	計	0	1, 935	0			2	3	4	3	5	3	4	3	2	4	4	41	47. 2
延岡		0	2, 800	0	2, 800	6	5	5	5	3	4	4	4	6	6	5	3	56	50. 0
~=	計	0	2, 800	0	2, 800		5	5	5	3	4	4	4	6	6	5	3	56	50. 0
\vdash	高千穂町	0	275	0			1			2	7		7	-	1		2	6	45. 8
高千	日之影町	0	80	0						1							1	2	40. 0
穂	五ヶ瀬町		80	0						1							1	2	40. 0
	計	0	435	0	435		1	0	0	4	0	0	0	0	1	0	4	10	43. 5
移動	<u> </u>	0	22, 200	0		_	37	38	37	35	35			39	37	35	39	444	50. 0
-	ルーム	111	7, 623				31	30	31	31	30		30	30	30	29	31	364	55. 8
	合計	111	29, 823	12, 595			68	68	68	66	65		67	69	67	64	70	808	55. 6
Ĩ	口前	111	۷ ۶ , ۵۷۵	12, 595	42, 529	0/	ზშ	ზშ	80	00	00	09	υ/	09	0/	04	/0	808	

2 目標を確保するために必要な措置に関する事項

県は市町村、日本赤十字社宮崎県支部及び宮崎県赤十字血液センターと協力し、献血について県民の理解を深めるため、普及啓発活動及び献血運動推進県民大会の開催等の 具体的な事業を実施する。

献血の推進に当たっては、学生献血推進協議会等と連携しながら若年層への理解と協力を求めるため、各般の事業を展開する。

また、当面の間は新型コロナウイルス感染症の影響があると思われるため、継続的な 献血協力が得られるよう献血思想の普及を図る。

(1) 普及啓発活動の実施

- ア 献血会場等における成分献血、400mL 献血の推進
 - 〇赤十字奉仕団、学生献血推進協議会による呼びかけ
- イ 町、総ぐるみ献血参加運動
- ウ 複数回献血、成分献血確保対策
 - 〇ラブラッド会員 (複数回献血クラブ) 登録促進
 - 〇献血の情報及び成分献血協力企業名等を新聞に掲載
- エ 高校での献血と触れ合う機会の推進
 - 〇献血セミナーの実施
 - ○学校献血の実施
- オ 全国統一キャンペーン
 - 〇こいのぼり献血 (学生献血推進協議会)
 - ○愛の血液助け合い運動
 - 〇クリスマス献血(学生献血推進協議会)
 - 〇はたちの献血
- カ 夏休み献血教室、献血ルーム親子見学会
- キ 中学生用啓発ポスター、高校生啓発テキストの配布

(2)献血運動推進県民大会の開催

令和5年度みやざき愛の献血運動推進県民大会の実施

(3) 献血体制の推進

- ア 会議・研修会の開催
 - 〇ライオンズクラブ献血推進セミナー
 - 〇宮崎県輸血懇話会
 - 〇宮崎県合同輸血療法委員会研修会
 - 〇令和5年度宮崎県献血推進協議会
 - 〇各保健所献血推進連絡協議会
- イ 血液検査成績通知サービスの実施